

平成30年度 地域公共交通に関する自己評価概要（全体）

# 江南市地域公共交通会議

平成19年6月27日設置

平成30年3月 「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」策定

## ■ 地域の特性と背景

- ・市内東部から南部にかけて名鉄犬山線が走り、江南駅、布袋駅が存在。
- ・名鉄バスが10路線、大口町コミュニティバスが2路線運行。
- ・市内全域で、いこまいC A R※を運行。計画的な昼間のお出かけに対し、路線バスを補完するものとして市民の足を担う。

- ・第6次総合計画では、以下のとおり拠点を位置付け、中心拠点－地域拠点間や、中心拠点同士を交通ネットワークで結び、住みやすく利便性の高いコンパクトなまちづくりをめざす。

『中心拠点』…江南駅・布袋駅を中心とする区域

『地域拠点』…江南厚生病院～市スポーツプラザ周辺  
曼陀羅寺公園～江南団地周辺

※市民の市内の移動手段として、市が運行するタクシーを利用した交通サービス。

## ■ 公共交通の基本的な方針

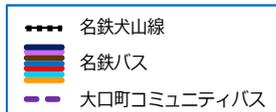
- ・コンパクトエリアについては、鉄道や路線バスを中心に市民の足を確保。
- ・コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持。
- ・市内全域で、路線バス等でカバーできないエリアはいこまいC A Rを運行。
- ・路線バス・いこまいC A Rで対応できない場合は、福祉タクシー（福祉施策）や通常のタクシーで市民の移動を担う。
- ・地域主体の新しい公共交通サービスの導入についてルールを定め、支援を行う。

地域が主体となって、新しい公共交通サービスを導入する場合は、ルールを定め、必要な支援を行う。

コンパクトエリアは、鉄道・路線バスを中心に市民の足を確保。

コンパクトエリア外については、既存の公共交通をできる限り維持する。  
市内全域で、路線バス等でカバーできないエリアはいこまいC A Rを運行。  
福祉タクシーや通常のタクシーも足を担う。

平成30年時点の市内公共交通（鉄道・路線バス）



## ■ 取組期間(総合計画と連動)

平成30年度～令和9年度（平成39年度）

## 政策評価

指標	設定理由と対策	算出方法
市民一人当たりの公共交通利用回数	利用回数の推移について、変動理由を考察。公共交通政策の方向性の確認を行い、事業に反映。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの利用者数（名鉄バスより提供）</li> <li>・いこまいC A Rの利用者数（江南市が集計）</li> <li>・大口町コミュニティバスの江南市内の停留所の利用者数（大口町より提供）</li> </ul> <p>4月から翌年3月の上記人数を合計して年間の利用回数を算出し、年度末時点の人口で割って算出。 名鉄バスの利用人数は、古知野線（2路線）、江南・病院線、江南団地線（4路線）、木曽川線、一宮・宮田線（2路線）の路線別利用者数の合計とする。 補助路線以外の利用人数は、路線ごとに年間の利用人数をOD調査（起終点調査）1日分の市内停留所の利用者数で按分したものを年間利用者数の推計値として利用。</p>

## 事業評価

評価対象	指標	設定理由と対策	算出方法
路線バスの維持確保(補助路線)	利用者一人当たりの市負担額の推移(路線別評価)	路線別の推移について、変動理由を考察。事業評価で報告し、事業の維持・改善に反映。	<p>下記の補助路線における、当該年度の補助金を、補助金算定期間である10月～翌年9月の利用者数で割って算出。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江南・病院線</li> <li>・江南団地A線(古知野高校経由)</li> <li>・江南団地D線(ヴィアモール経由)</li> <li>・江南団地E線(団地経由江南厚生病院行)</li> </ul>
いこまいC A Rの維持確保	江南市の市負担額の推移	事業費の変動内容から、変動理由を考察。事業評価で報告し、事業の継続または見直し内容に反映。	該当年度の決算額を利用。

#### ■ 市内を運行する路線バスの維持確保

→利用啓発への取り組み【名鉄バス】

- ・こどもフェスティバルへのブース出展

→停留所付近にバス利用者の駐輪場を整備。

- ・すいとぴあ江南、ヴィアモール前、木賀本郷、木賀定和、布袋五明の各停留所に整備。

#### ■ いこまいC A Rの維持確保

→ドライバーによる未登録者への案内。【タクシー事業者】

→運行事業者各社が出席する打合せ会で情報交換を実施。

→免許証返納者に対し、いこまいCARのチラシを配布。【警察】

#### ■ 地域主体の新しい公共交通サービスの支援

→導入ルールを策定。

#### ■ 地域公共交通の利用促進

→市民が集まる市役所1階西ロビーで啓発を実施。

- ・特に新規転入者に向けて、市内の地図に市内の鉄道路線と駅、バス路線（名鉄バス・大口町コミュニティバス）と停留所を示した公共交通マップを掲示し、時刻表を配布。

- ・いこまいC A Rの利用案内を掲載。



## ■ 政策評価

(単位:回/人) ※小数点以下四捨五入

指標	H28(基準年)	H29
市民一人当たりの公共交通利用回数	11	11



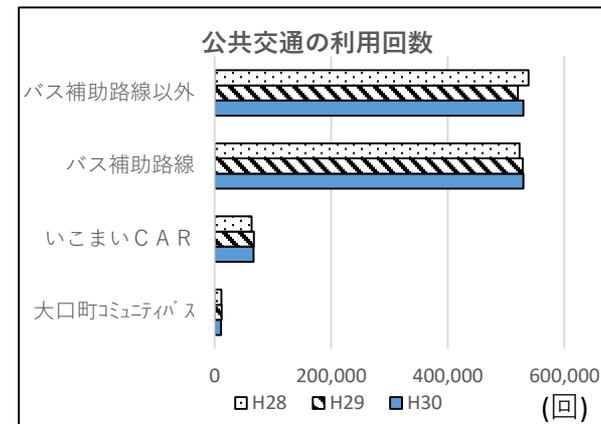
H30	評価
11	○

## 【参考】利用回数内訳

内訳	H28	H29
名鉄バス補助路線以外(推計)	538,525	520,283
名鉄バス補助路線	523,513	528,918
いこまいC A R	63,900	67,411
大口町コミュニティバス	11,957	12,171
合計	1,137,895	1,128,783
年度末時点人口(単位:人)	100,915	100,749

(単位:回)

H30
530,026
529,865
66,971
11,309
1,138,171
100,494



## 評価に関する考察

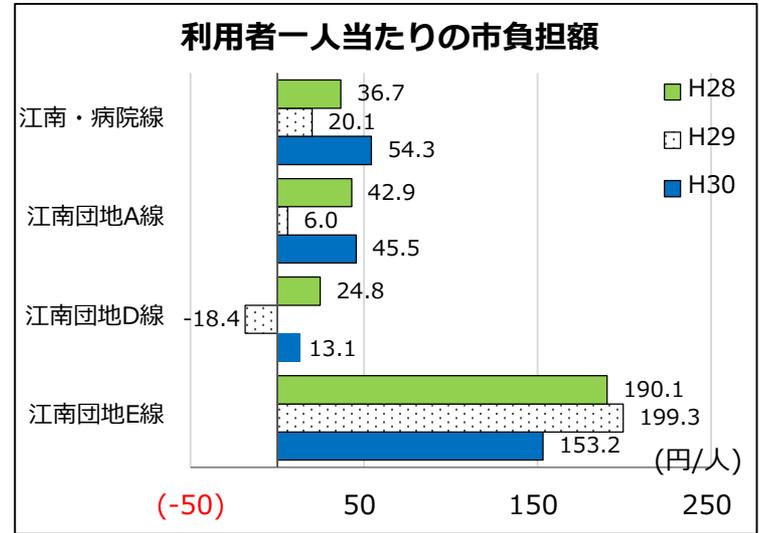
- ・ 基準年の平成28年度と比較し、利用回数について、名鉄バス補助路線以外(推計)は減少、名鉄バス補助路線は増加、いこまいC A Rは増加、大口町コミュニティバスは減少し、市民一人当たりの公共交通利用回数は維持した。
- ・ 名鉄バス補助路線以外(推計)の利用回数は、平成29年度に減少したものの、平成30年度は10月のダイヤ改正に伴い、古知野線の利用回数が増加したため、増加した。
- ・ 名鉄バス補助路線の利用回数は、江南団地D線が増加傾向であり、増加した。
- ・ いこまいC A Rの利用回数は、登録者数・利用者数が増加傾向であり、平成30年度は平成29年度より減少したものの、平成28年度より増加している。

## ■ 事業評価 (路線バス・補助路線)

### 利用者一人当たりの市負担額 (年間補助額) の推移

区分	H28(基準年)	H29	H30
江南・病院線	36.7	20.1	54.3
江南団地A線 (古知野高校前経由)	42.9	6.0	45.5
江南団地D線 (ヴィアモール前経由)	24.8	-18.4	13.1
江南団地E線 (団地経由厚生病院行)	190.1	199.3	153.2

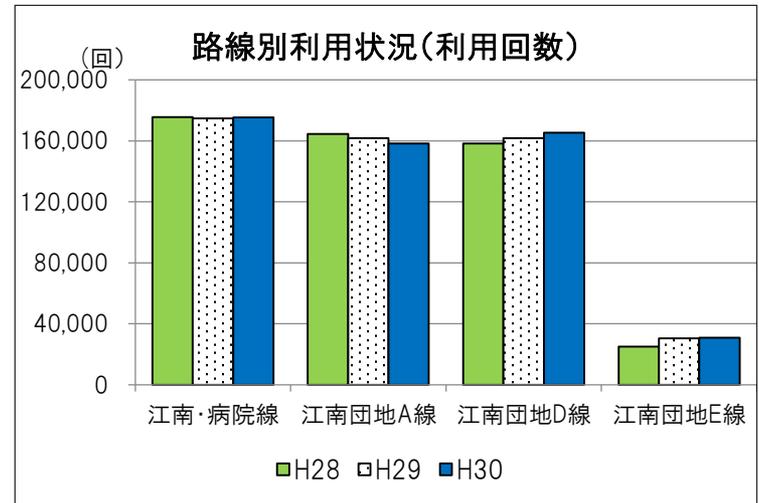
(単位:円/人)



### 年間利用回数 (4月～3月)

区分	H28(基準年)	H29	H30
江南・病院線	175,655	174,819	175,376
江南団地A線 (古知野高校前経由)	164,611	161,734	158,227
江南団地D線 (ヴィアモール前経由)	158,248	161,820	165,423
江南団地E線 (団地経由厚生病院行)	24,999	30,545	30,839

(単位:回)



## ■ 事業評価（路線バス・補助路線）

評価に関する考察 平成29年度は、補助金算定上の特殊要因のため、他年度と比較して補助金全体が大きく減額。

## 【江南・病院線】

- ・一人当たりの補助額について、基準年の平成28年度と比較し、平成29年度は減少したが、平成30年度は増加した。
- ・利用回数について、大きな変動はない。

## 【江南団地A線（古知野高校前経由）】

- ・一人当たりの補助額について、平成30年度は平成28年度に近い額となっている。
- ・利用回数について、平成29年4月に行ったダイヤ改正により平成28年度と比較し平成29年度、平成30年度と減少したが、一便当たりの利用率は向上した。

※平日の便数を一日当たり3便減→江南団地D線に振替

- ・また、平成30年度の減少の要因として、5月のゴールデンウィークの大幅な減少がある。温暖な気候により藤の花が例年より早く散ったため、藤まつりへの観光客が減ったことによる。

## 【江南団地D線（ヴィアモール前経由）】

- ・一人当たりの補助額について、平成30年度は平成28年度より減少した。
- ・利用回数について、平成30年度は平成28年度より増加している。ヴィアモール前の利用が多く増加傾向であり、平成29年4月にダイヤ改正を行い、増便した。

※平日の便数を一日当たり3便増→江南団地A線から振替

## 【江南団地E線（団地経由厚生病院行）】

- ・一人当たりの補助額が最も大きい路線だが、平成30年度は平成28年度より減少した。
- ・利用回数について、平成30年度は平成28年度と比較し、増加した。平成27年10月に減便を実施（1日10→5往復）したことにより一時大きく減少したが、その後はヴィアモール前や滝学園北の利用が増加している。
- ・減便により、一便当たりの利用率は大きく向上し、維持している。

## ■ 事業評価 (いこまいCAR)

### 市負担額の推移

	H28(基準年)	H29
江南市の市負担額	32,002,680	31,931,270



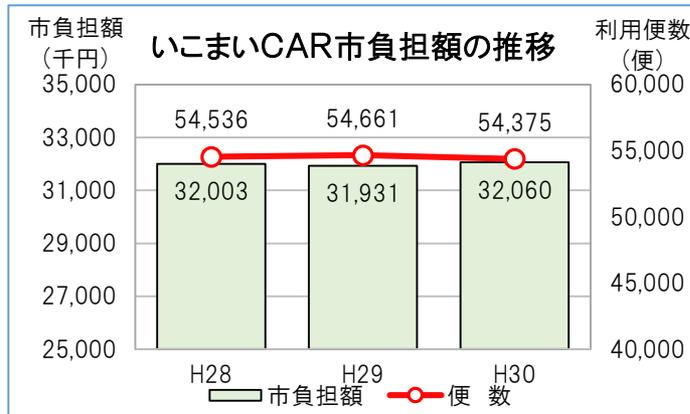
(単位:円)

H30
32,060,200

### 年間利用状況

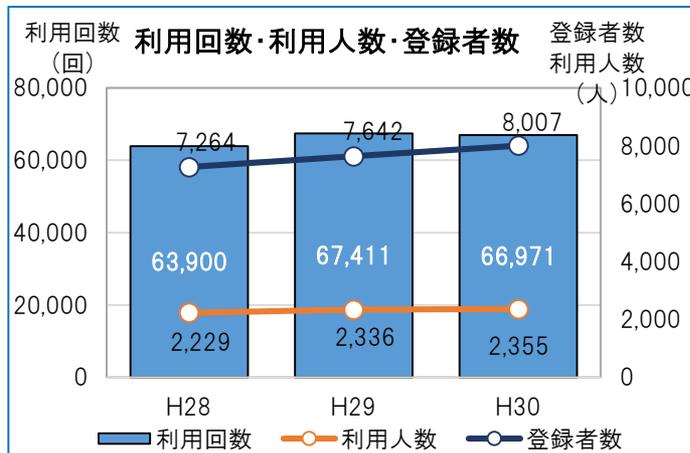
(単位:便・回・人)

区分	H28(基準年)	H29	H30
利用便数	54,536	54,661	54,375
利用回数	63,900	67,411	66,971
登録者数	7,264	7,642	8,007
利用人数	2,229	2,336	2,355



### 評価に関する考察

- 市負担額は基準年の平成28年度と比較し、微増し、利用回数は相乗り率の向上により増加した。
- 2人以上の相乗りは11,674便で、相乗り率は21.5%。1便当たりの利用人数は1.23人。
- 登録者数は順調な伸びをしているものの、利用人数の伸びが鈍化した。今後の経過について注視を要する。



課題		対応方針
公共交通政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民一人当たりの公共交通利用回数が減少しないよう、公共交通全体で利用者を確保することが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスやタクシーなどの公共交通に関して、イベントなどで積極的に啓発を実施する。</li> </ul> <p>→<b>具体例</b>：5月に開催の「こどもフェスティバル」に公共交通をPRするブースを出展。</p>
名鉄バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数を維持するため、利便性を向上する対策が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者と密に連携をして、できる範囲でよりよい運行内容を検討する。</li> <li>停留所付近にバス利用者の駐輪場を整備し、新たな利用者の取り込みを図る。</li> </ul> <p>→<b>具体例</b>：KTXアリーナ（市スポーツセンター）に名鉄バス利用者用の駐輪場を新設。</p>
いこまいCAR	<ul style="list-style-type: none"> <li>知人などが一緒に利用する際に、各自宅で乗車する場合には予約を分ける必要があり、初乗運賃と迎車回送料金がそれぞれかかるため、負担感が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の負担軽減や、輸送効率の向上を図るため、相乗りしやすいルールへの変更を検討。</li> </ul> <p>→<b>具体例</b>：これまでルール上できなかった、立寄り実施を検討。</p>

平成30年度 地域公共交通に関する自己評価概要（経緯）

# 江南市地域公共交通会議

平成19年6月27日設置

平成30年3月 「江南市における地域公共交通の基本的な考え方」策定

## ■ 市内バス路線・停留所マップの作製

→都市計画基本図に、名鉄犬山線・名鉄バス・大口町コミュニティバスの全路線と駅、停留所を記載した市内バス路線・停留所マップを市職員が作製。  
路線変更、停留所の位置変更、名称変更などに柔軟に対応可能。

→市役所1階西ロビーにて掲示。

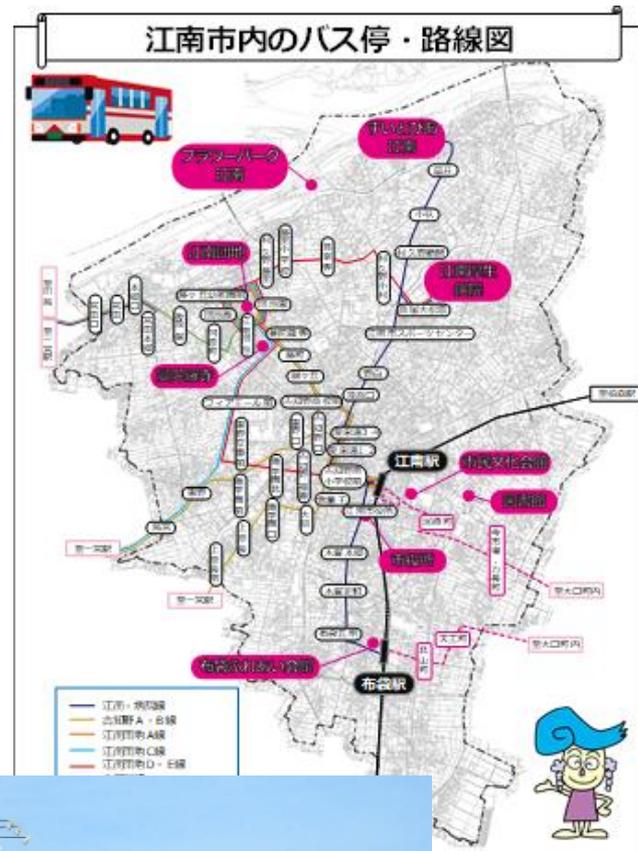
## ■ バス停留所付近に駐輪場を整備

→サイクル&バスライドを促進し、利便性の向上と新たな利用者確保のため、新たにヴィアモール前の停留所に駐輪場を整備。



## ■ こどもフェスティバルへブース出展

→市民がバスに親しみを持てるようにし、バス利用を促進するため、名鉄バスがブースを出展。



## ■政策評価の評価方法

政策評価は指標の数値のみでなく、各モードごとの利用回数の経年推移や利用状況の変動などを、その理由を中心に分析し、検討する。また、平成 28 年度実績値を基準とし、以下の評価基準により◎、○、△、×の 4 段階の評価をする。

内容	評価指標	評価基準
政策評価	市民一人当たりの公共交通利用回数	◎：指標が増加している。 ○：指標が維持している。 △：指標が減少しており、公共交通利用回数の経年推移や利用状況の分析による結果、経過を注視する必要がある。 ×：指標の大幅な減少が認められ、即時に方向性の変更が必要である。

平成30年度

---

**江南市地域公共交通  
(いこまいCAR・バス)  
の利用状況**

---

令和元年7月

都市整備部都市計画課

## 目次

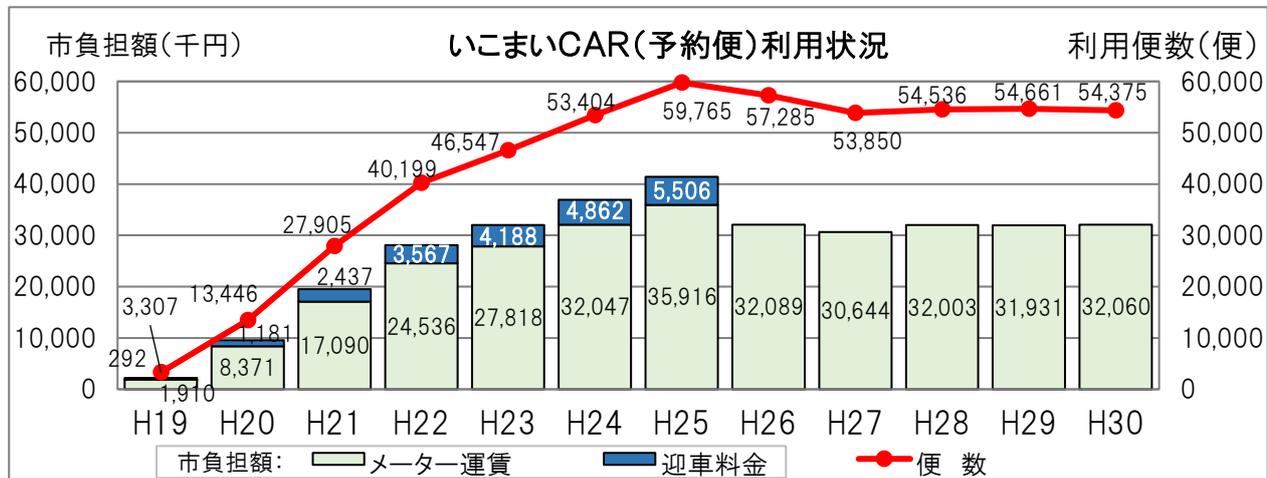
1. いこまい CAR(予約便)利用状況(経年比較)	1
1)市負担額・利用便数の推移	1
2)登録者数・利用人数の推移	1
2. いこまいCAR(予約便)利用状況(平成 30 年度)	2
1)年齢別登録者数・利用人数	2
2)年齢別運行便数割合	2
3)時間帯別利用割合	3
4)曜日別利用割合	3
5)利用目的別割合	4
6)一便当たりの料金別利用割合	4
7)一人当たりの利用回数割合	5
8)地区別登録者割合	5
9)出発地区別利用者割合	6
10)登録住所別利用者割合	7
参考:いこまいCAR地区別位置図	8
3. 名鉄バス(補助路線)利用状況	9
1)利用者数(路線別)	9
2)一便当たり利用者数(路線別)	9
3)利用者一人当たりの市負担額(路線別補助額)	10
4)補助路線区間別補助金額(推計)	11
4. 大口町コミュニティバス(毎日運行便)利用状況	12
1)中部ルート(江南駅行)	12
2)中部ルート(パロー行)	13
3)南部ルート(布袋駅行)	14
4)南部ルート(外坪松山行)	15
5. 江南市内のバス路線・停留所	16

# 1. いこまいCAR（予約便）利用状況（経年比較）

## 1) 市負担額・利用便数の推移

市負担額・利用便数とも、平成25年度までは増加していたが、平成26年度の料金改定<sup>※1</sup>後は、一時減少し、同程度の利用状況が続いている。

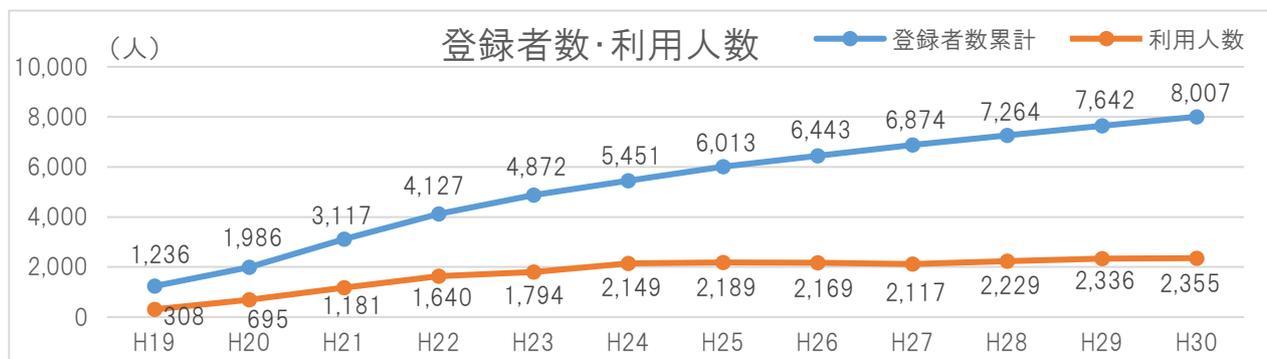
平成30年度は前年と比較し、負担額は0.4%の増、便数は0.5%の減と、ほぼ同じ水準となった。



※1 H26 料金改定概要：迎車料金を市負担→利用者負担、利用者負担を100円未満切捨て→10円未満切捨てに変更。

## 2) 登録者数・利用人数の推移

平成30年度末の登録者数は、8,007人で、前年度と比較して4.8%の増、利用人数は2,355人で、0.8%の増となり、登録者数、利用者数とも伸びを示している。



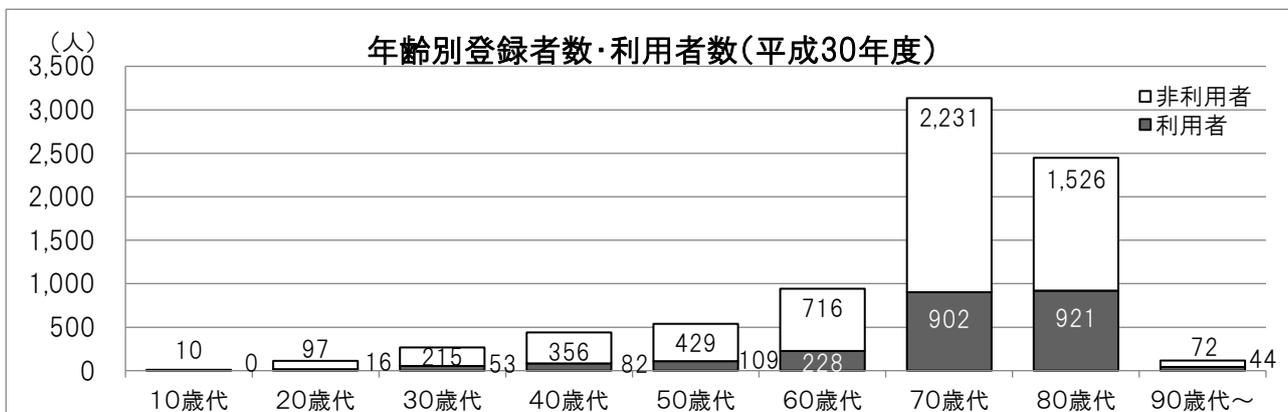
## ○登録者数・利用状況

年度	登録者数(人)		利用回数(回:人)	便数(便)	利用率(人/便)	市負担額(円)			1便当りの額(円)		
	登録者数	利用人数				うちメーター運賃	うち迎車料金	利用料金分	市負担分	合計	
H19	1,236	308	3,887	3,307	1.18	2,202,240	1,910,410	291,830	485	666	1,151
H20	1,986	695	17,351	13,446	1.29	9,552,140	8,371,070	1,181,070	534	710	1,244
H21	3,117	1,181	37,590	27,905	1.35	19,526,940	17,089,790	2,437,150	521	700	1,221
H22	4,127	1,640	51,348	40,199	1.28	28,103,170	24,535,980	3,567,190	517	699	1,216
H23	4,872	1,794	54,692	46,547	1.17	32,006,190	27,818,160	4,188,030	501	688	1,189
H24	5,451	2,149	63,550	53,404	1.19	36,908,650	32,047,090	4,861,560	501	691	1,192
H25	6,013	2,189	70,911	59,765	1.19	41,421,510	35,916,010	5,505,500	499	693	1,192
H26	6,443	2,169	67,932	57,285	1.19	32,088,610	32,088,610	0	651	560	1,211
H27	6,874	2,117	62,075	53,850	1.15	30,644,050	30,644,050	0	661	569	1,230
H28	7,264	2,229	63,900	54,536	1.17	32,002,680	32,002,680	0	682	587	1,269
H29	7,642	2,336	67,411	54,661	1.23	31,931,270	31,931,270	0	678	584	1,262
H30	8,007	2,355	66,971	54,375	1.23	32,060,200	32,060,200	0	684	590	1,274
計			627,618	519,280	1.21	328,447,650	306,415,320	22,032,330	-	-	-

## 2. いこまいCAR（予約便）利用状況（平成30年度）

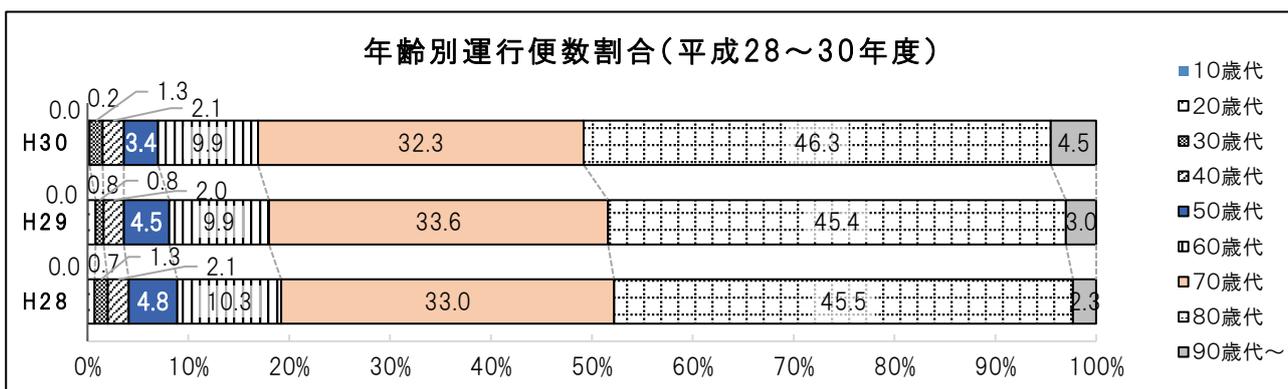
### 1) 年齢別登録者数・利用人数

平成30年度末の登録者数は8,007名、うち70歳代が39.1%、80歳代が30.6%と突出して高くなっており、登録者全体の約7割が70歳以上の高齢者となっている。



### 2) 年齢別運行便数割合

平成30年度は、70歳代が32.3%、80歳代が46.3%と利用の大半を占めている。全体の約90%が65歳以上の運行となっており、直近3年間で、年代別の構成に大きな変化は見られない。



### 年齢別登録者数・利用人数累計 (平成31年3月31日現在)

年代	登録者数			登録者割合(%)	人口(人)	人口に対する登録者割合(%)
	登録者(人)	利用人数(人)	利用人数割合(%)			
10歳代	10	0	0.0	0.1	5,233	0.2
20歳代	113	16	14.2	1.4	9,578	1.2
30歳代	268	53	19.8	3.3	10,742	2.5
40歳代	438	82	18.7	5.5	15,832	2.8
50歳代	538	109	20.3	6.7	13,177	4.1
60歳代	944	228	24.2	11.8	11,885	7.9
70歳代	3,133	902	28.8	39.1	13,198	23.7
80歳代	2,447	921	37.6	30.6	6,466	37.8
90歳代～	116	44	37.9	1.5	1,243	9.3
計	8,007	2,355	29.4	100.0	87,354	9.2

平成31年3月31日現在の人口…100,494人

15歳未満は登録不可であるため10歳代には10～14歳は含まない  
15歳未満の人口…13,140人

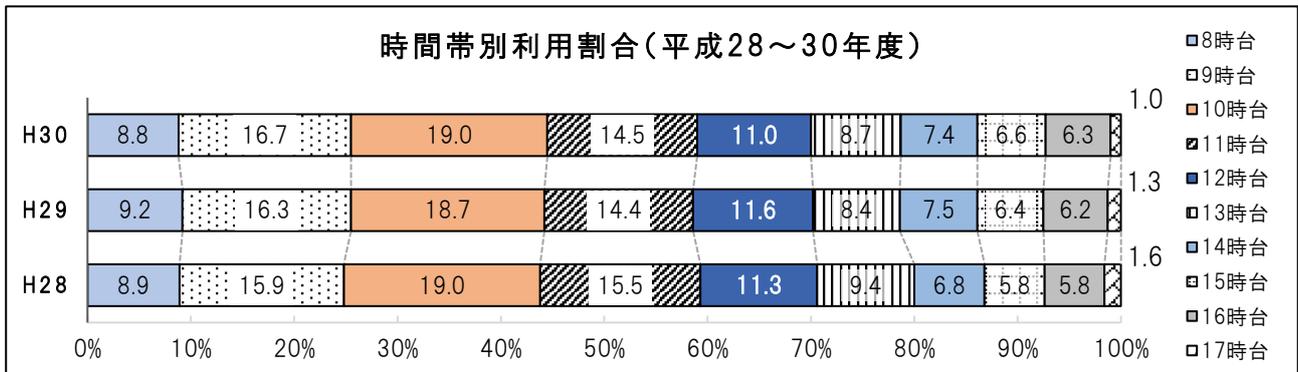
### 年齢別運行便数

年齢	H30		H28	H29
	便数(便)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
10歳代	0	0.0	0.0	0.0
20歳代	111	0.2	0.7	0.8
30歳代	689	1.3	1.3	0.8
40歳代	1,148	2.1	2.1	2.0
50歳代	1,829	3.4	4.8	4.5
60歳代	5,379	9.9	10.3	9.9
70歳代	17,557	32.3	33.0	33.6
80歳代	25,194	46.3	45.5	45.4
90歳代～	2,468	4.5	2.3	3.0
計	54,375	100.0	100.0	100.0
～64歳	6,105	11.2	12.3	11.8
65歳～84歳	37,370	68.7	69.8	68.9
85歳～	10,900	20.1	17.9	19.3
計	54,375	100.0	100.0	100.0

### 3)時間帯別利用割合

朝8時台から徐々に高くなり、10時台でピークを迎え、その後は減少する傾向にある。

平成30年度は、8時台から12時台までの利用が合計で70.0%となり、午前中の利用者が多くなっており、この傾向について、直近3年間で大きな変化は見られない。

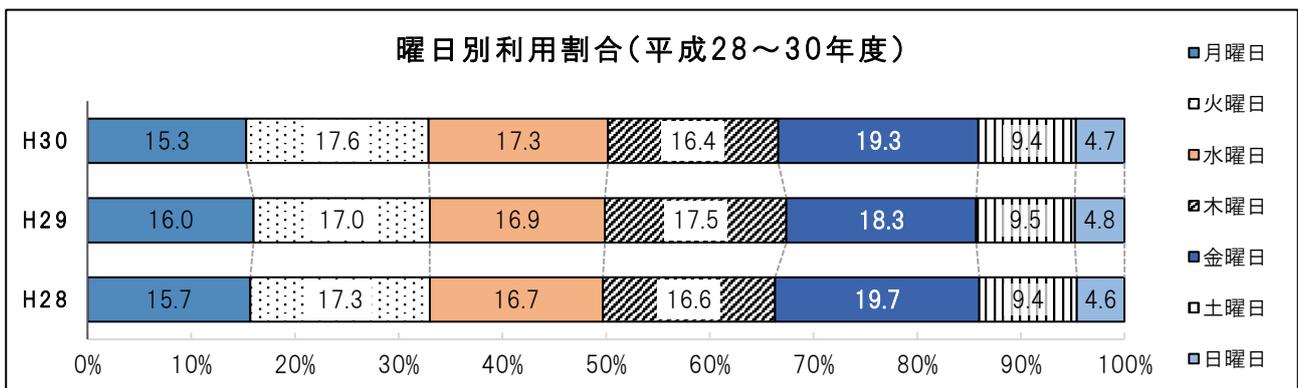


### 4)曜日別利用割合

月曜から金曜日の平日の利用がどの曜日もほぼ同じ水準で高く、金曜日が最も高くなっている。

土曜・日曜日の休日の利用は低く、特に日曜日の利用が低い。

平成28年度から30年度にかけて水曜日の利用率が0.6ポイント増加し、月曜日と金曜日の利用率がそれぞれ0.4ポイント減少している。



#### 時間帯別利用状況

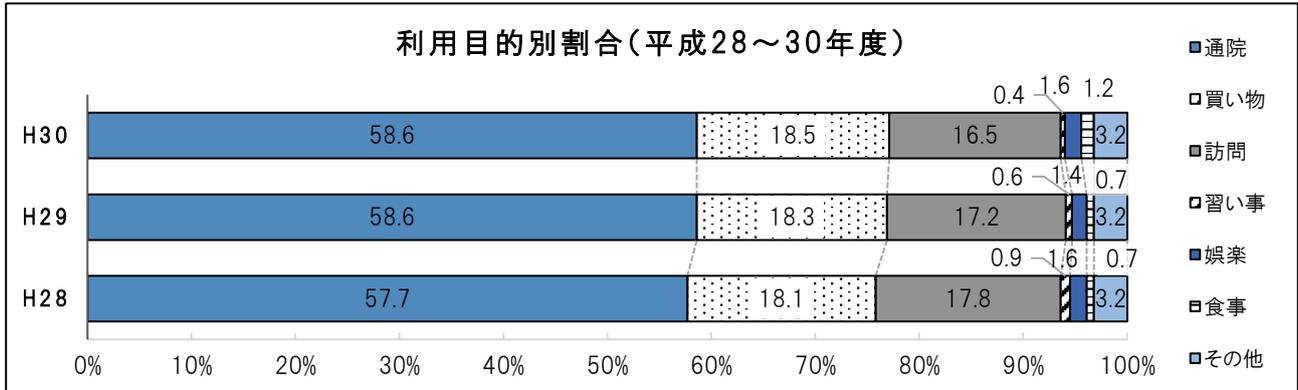
時間帯	H30		H28	H29
	利用者数 (人)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
8時台	5,882	8.8	8.9	9.2
9時台	11,206	16.7	15.9	16.3
10時台	12,692	19.0	19.0	18.7
11時台	9,723	14.5	15.5	14.4
12時台	7,389	11.0	11.3	11.6
13時台	5,808	8.7	9.4	8.4
14時台	4,932	7.4	6.8	7.5
15時台	4,445	6.6	5.8	6.4
16時台	4,199	6.3	5.8	6.2
17時台	695	1.0	1.6	1.3
計	66,971	100.0	100.0	100.0

#### 曜日別利用状況

曜日	H30		H28	H29
	利用者数 (人)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
月曜日	10,240	15.3	15.7	16.0
火曜日	11,746	17.6	17.3	17.0
水曜日	11,596	17.3	16.7	16.9
木曜日	11,006	16.4	16.6	17.5
金曜日	12,946	19.3	19.7	18.3
土曜日	6,301	9.4	9.4	9.5
日曜日	3,136	4.7	4.6	4.8
計	66,971	100.0	100.0	100.0

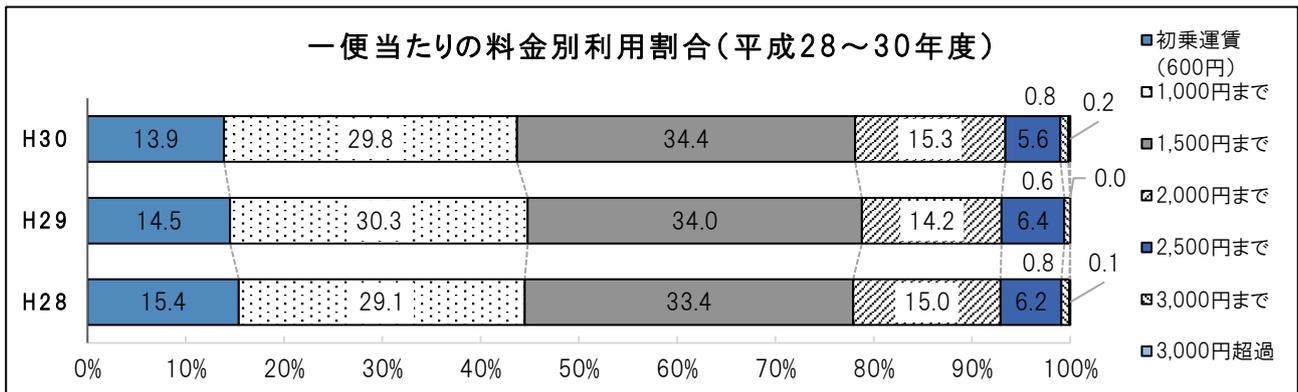
### 5) 利用目的別割合

平成30年度は、通院が58.6%、買い物が18.5%、訪問が16.5%で、93.6%を占める。  
直近3年間でもほぼ同じ構成となっており、半数以上が通院目的でいこまいCARを利用している。



### 6) 一便当たりの料金別利用割合

平成30年度は、初乗運賃(600円)までの利用が13.9%、1,000円までの利用を含めると43.7%であり、93.4%が2,000円までの利用となっている。また、1,000~1,500円の区分の利用が最も高く、34.4%となっている。



### 利用目的別利用状況

利用目的	H30		H28	H29
	利用者数(人)	割合(%)	割合(%)	割合(%)
通院	39,277	58.6	57.7	58.6
買い物	12,378	18.5	18.1	18.3
訪問	11,016	16.5	17.8	17.2
習い事	277	0.4	0.9	0.6
娯楽	1,043	1.6	1.6	1.4
食事	828	1.2	0.7	0.7
その他	2,152	3.2	3.2	3.2
計	66,971	100.0	100.0	100.0

※その他:市役所、郵便局・銀行、法要、スポーツ、旅行等

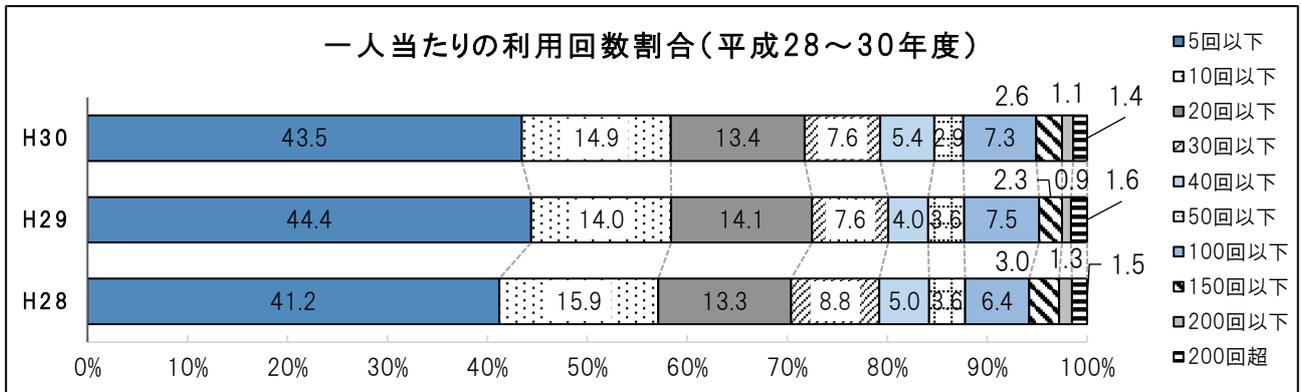
### 料金別利用状況

メーター料金	H30			H28	H29
	件数(件)	割合(%)	市負担額(円)	割合(%)	割合(%)
初乗運賃	7,546	13.9	2,253,540	15.4	14.5
1,000円まで	16,217	29.8	6,673,480	29.1	30.3
1,500円まで	18,704	34.4	11,767,170	33.4	34.0
2,000円まで	8,315	15.3	7,244,230	15.0	14.2
2,500円まで	3,072	5.6	3,394,490	6.2	6.4
3,000円まで	408	0.8	547,690	0.8	0.6
3,000円超過	113	0.2	179,600	0.1	0.0
計	54,375	100.0	32,060,200	100.0	100.0

### 7)一人当たりの利用回数割合

平成30年度は、5回以下の利用が43.5%で、10回以下の利用を含めると58.4%と半数以上が年間10回以下の利用となっている。

平成28年度から30年度にかけて、5回以下の利用が2.3ポイント増加している。

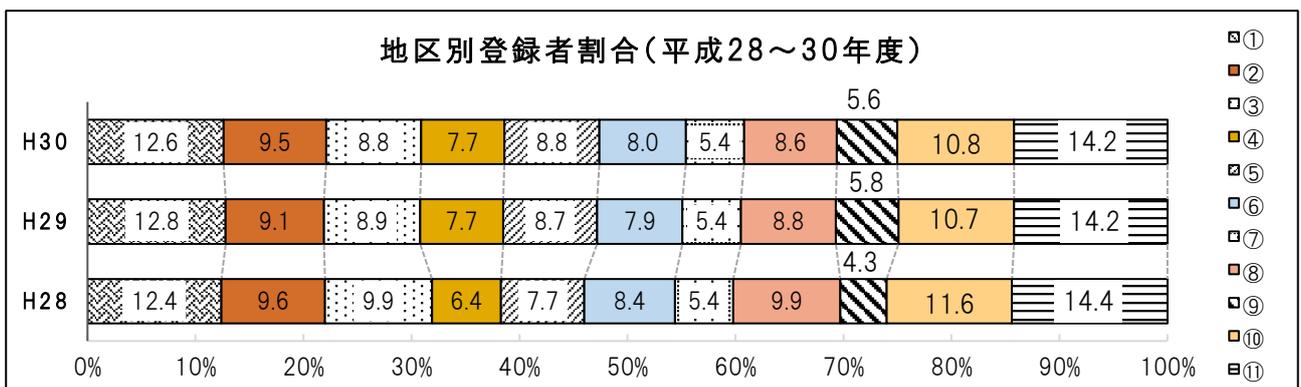


### 一人当たりの利用回数

回数	H30		H28		H29	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
5回以下	1,025	43.5	919	41.2	1,038	44.4
10回以下	351	14.9	355	15.9	327	14.0
20回以下	315	13.4	296	13.3	330	14.1
30回以下	178	7.6	195	8.8	178	7.6
40回以下	128	5.4	112	5.0	94	4.0
50回以下	69	2.9	81	3.6	83	3.6
100回以下	171	7.3	143	6.4	175	7.5
150回以下	62	2.6	67	3.0	54	2.3
200回以下	26	1.1	29	1.3	21	0.9
200回超	30	1.3	32	1.5	36	1.6
計	2,355	100.0	2,229	100.0	2,336	100.0

### 8)地区別登録者割合

平成30年度は、⑩宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野地区が14.2%と最も高く、次いで①古知野・赤童子・大間が12.6%となっているが、人口に対する登録者割合をみると、⑧力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東地区が9.6%と最も高く、次いで⑩宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野地区が9.3%となっている。



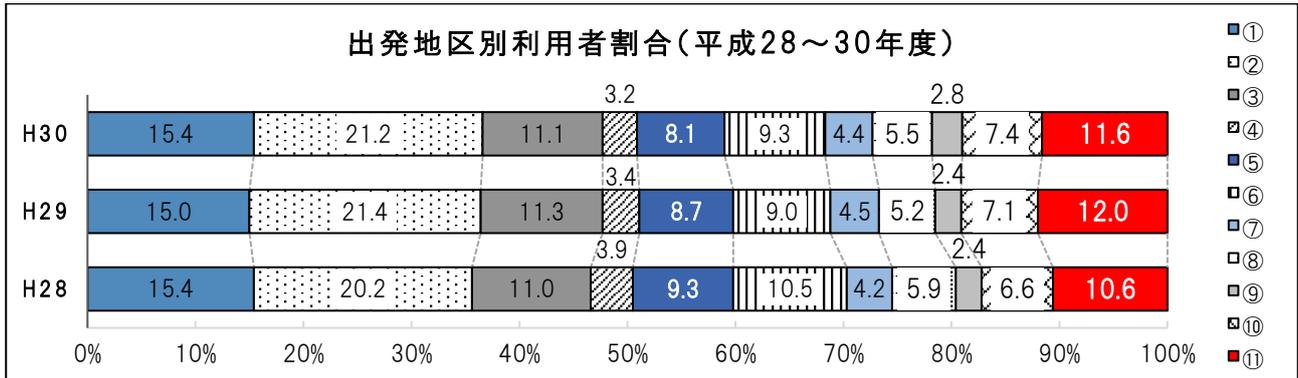
地区別登録者数

No.	地区	H30						H28	H29
		登録者 (人)	割合 (%)	利用人数 (人)	割合 (%)	人口 (人)	人口に対する 登録者割合 (%)	登録者 割合 (%)	登録者 割合 (%)
①	古知野・赤童子・大間	1,012	12.6	295	12.5	14,040	7.2	12.4	12.8
②	高屋・野白・飛高	765	9.5	222	9.4	12,576	6.1	9.6	9.1
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	707	8.8	226	9.6	8,432	8.4	9.9	8.9
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	614	7.7	141	6.0	7,988	7.7	6.4	7.7
⑤	上奈良・東野・島宮	701	8.8	189	8.0	8,459	8.3	7.7	8.7
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	641	8.0	205	8.7	9,180	7.0	8.4	7.9
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	432	5.4	126	5.4	5,085	8.5	5.4	5.4
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	685	8.6	238	10.1	7,101	9.6	9.9	8.8
⑨	草井・鹿子島・小杣・小脇・慈光堂	447	5.6	100	4.3	5,278	8.5	4.3	5.8
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	864	10.8	271	11.5	10,131	8.5	11.6	10.7
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	1,139	14.2	342	14.5	12,224	9.3	14.4	14.2
計		8,007	100.0	2,355	100.0	100,494	8.0	100.0	100.0

9) 出発地区別利用者割合

平成30年度は、②高屋・野白・飛高地区が最も高く21.2%、次いで、①古知野・赤童子・大間地区が15.4%となっている。

②高屋・野白・飛高地区に江南厚生病院が、①古知野・赤童子・大間地区に江南駅や、病院、商業施設などの都市機能増進施設が多数存在していることから、利用者が多い状況となっている。



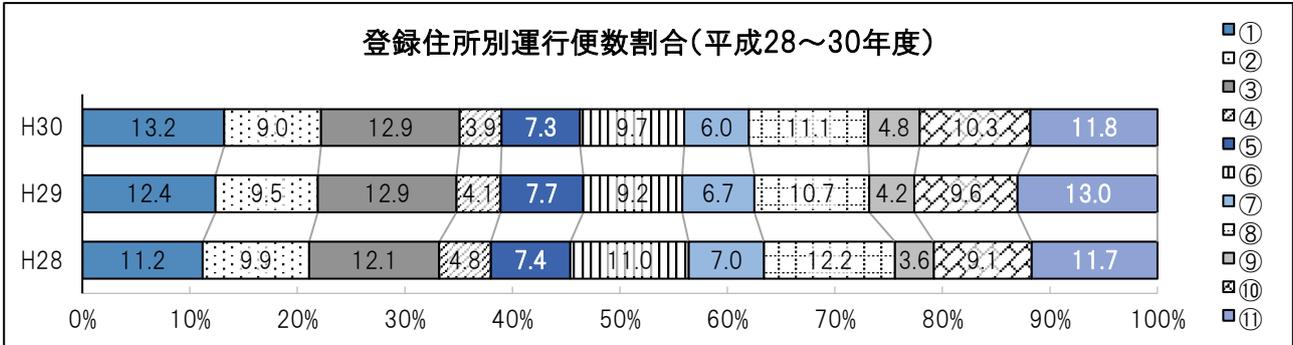
出発地区別利用者数

No.	地区	H30				H28	H29
		利用者 (回:人)	割合 (%)	運行 (便)	利用率 (人/便)	利用者 割合 (%)	利用者 割合 (%)
①	古知野・赤童子・大間	10,322	15.4	8,434	1.22	15.4	15.0
②	高屋・野白・飛高	14,195	21.2	10,935	1.30	20.2	21.4
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	7,440	11.1	6,621	1.12	11.0	11.3
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	2,164	3.2	1,815	1.19	3.9	3.4
⑤	上奈良・東野・島宮	5,399	8.1	4,446	1.21	9.3	8.7
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	6,217	9.3	5,178	1.20	10.5	9.0
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	2,964	4.4	2,440	1.21	4.2	4.5
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	3,645	5.5	3,006	1.21	5.9	5.2
⑨	草井・鹿子島・小杣・小脇・慈光堂	1,897	2.8	1,493	1.27	2.4	2.4
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	4,977	7.4	4,034	1.23	6.6	7.1
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	7,751	11.6	5,973	1.30	10.6	12.0
計		66,971	100.0	54,375	1.23	100.0	100.0

### 10)登録住所別運行便数割合

平成30年度は、①古知野・赤童子・大間地区が13.2%と最も高く、次いで、③北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野地区が12.9%となっている。

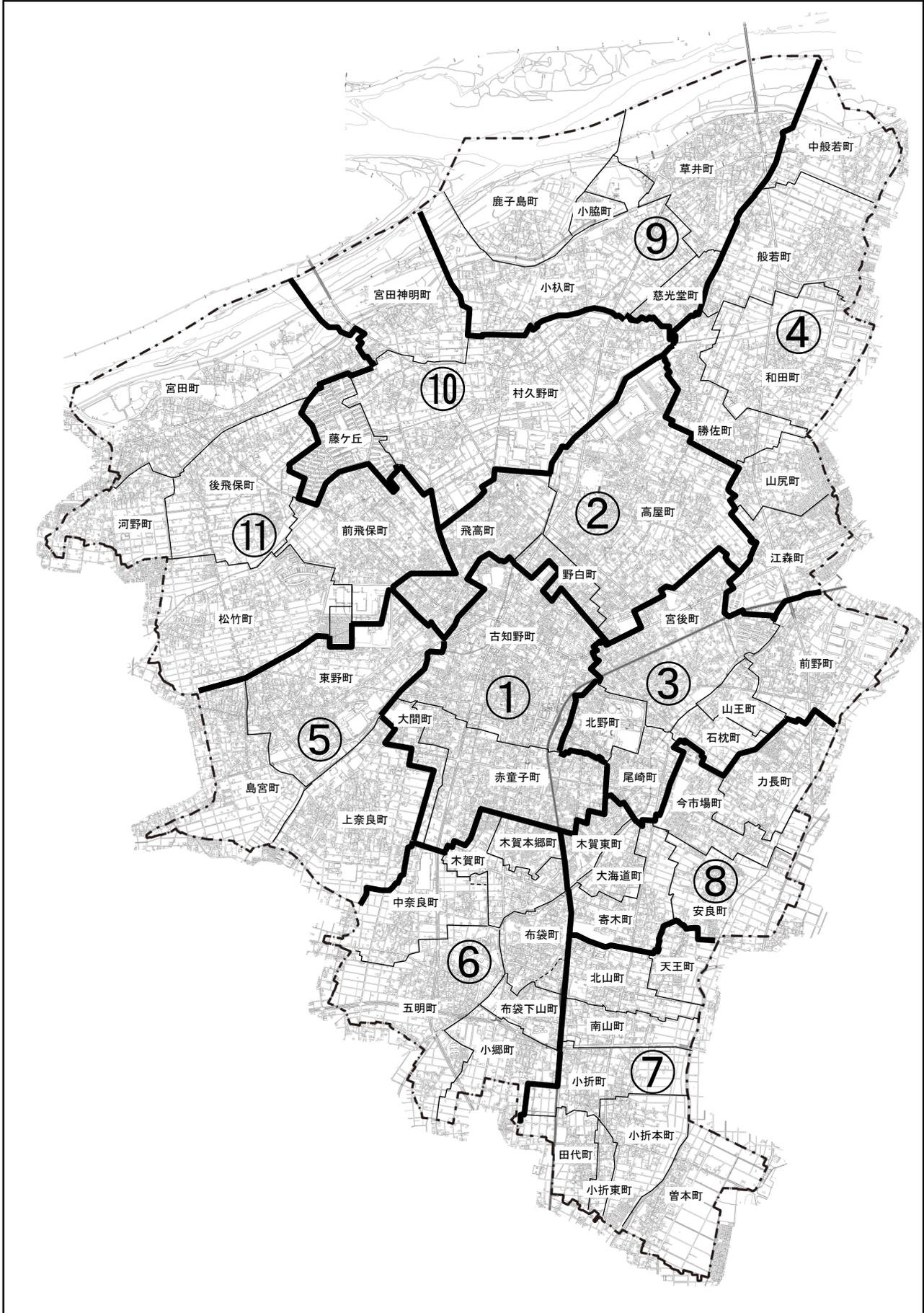
平成28年度から30年度にかけて、①古知野・赤童子・大間地区が2.0ポイント増加しており、⑥布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷地区が1.3ポイント減少している。



### 登録住所別利用者数

No.	地区	H30			H28	H29
		利用者 (回:人)	運行 (便)	割合 (%)	便数 割合 (%)	便数 割合 (%)
①	古知野・赤童子・大間	9,006	7,154	13.2	11.2	12.4
②	高屋・野白・飛高	6,023	4,865	9.0	9.9	9.5
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	8,072	7,005	12.9	12.1	12.9
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	2,602	2,140	3.9	4.8	4.1
⑤	上奈良・東野・島宮	4,952	3,979	7.3	7.4	7.7
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	6,197	5,270	9.7	11.0	9.2
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	4,192	3,286	6.0	7.0	6.7
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	7,365	6,039	11.1	12.2	10.7
⑨	草井・鹿子島・小杣・小脇・慈光堂	3,201	2,631	4.8	3.6	4.2
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	7,025	5,589	10.3	9.1	9.6
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	8,336	6,417	11.8	11.7	13.0
計		66,971	54,375	100.0	100.0	100.0

参考:いこまいCAR地区別位置図

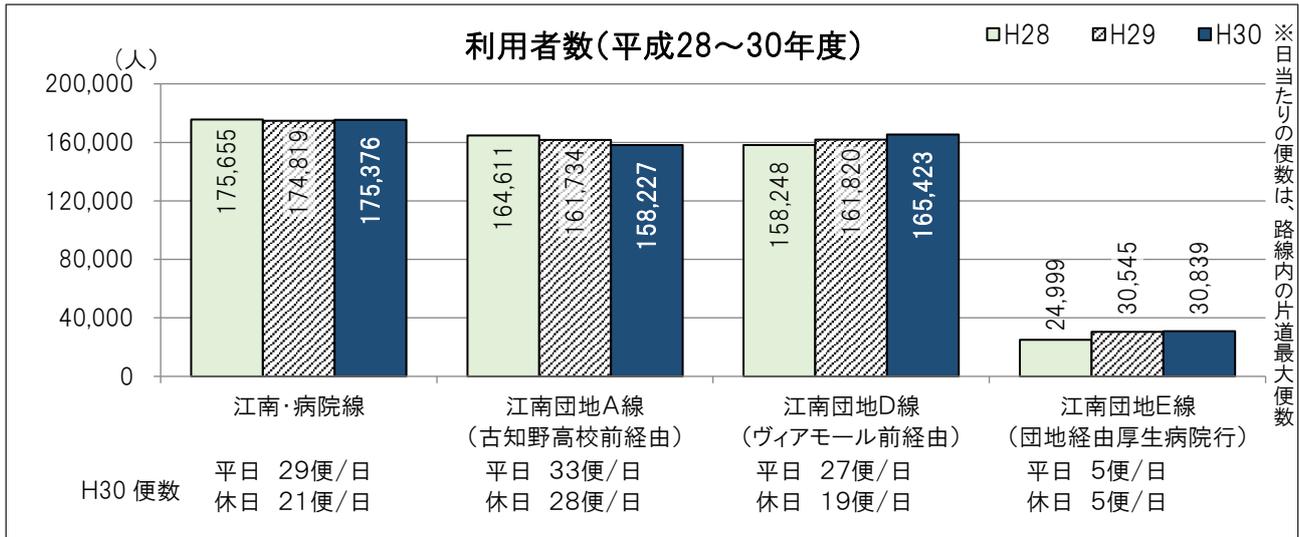


### 3. 名鉄バス（補助路線）利用状況

#### 1) 利用者数(路線別)

平成30年度は、江南・病院線で175,376人、江南団地A線で158,227人、江南団地D線で165,423人、江南団地E線で30,839人の利用があり、それぞれ前年と比較して、江南・病院線で557人の増、江南団地A線で3,507人の減、江南団地D線で3,603人の増、江南団地E線で294人の増となった。

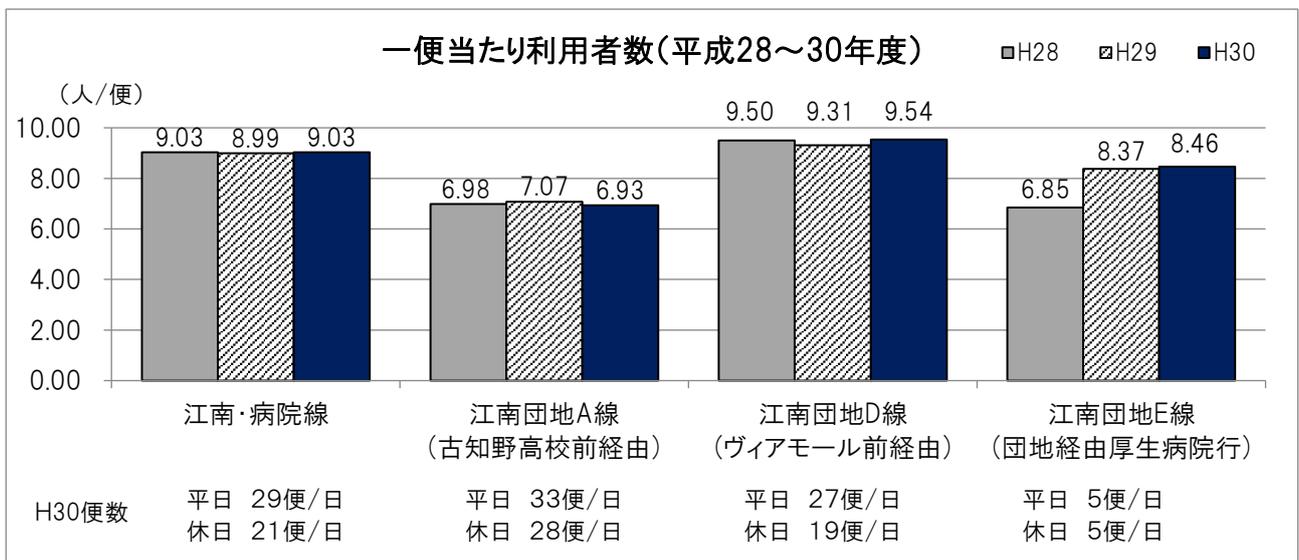
平成29年4月1日のダイヤ改正<sup>※2</sup>の影響により、平成28年度から30年度にかけて徐々に江南団地D線・E線の利用が増加している。



※2 H29ダイヤ改正概要：平日朝の3便を、江南団地A線→江南団地D線に振替、江南団地E線の江南駅始発を8:26→8:18に変更。

#### 2) 一便当たり利用者数(路線別)

平成30年度は、江南・病院線で9.03人/便、江南団地A線で6.93人/便、江南団地D線で9.54人/便、江南団地E線で8.46人/便の利用があり、それぞれ前年と比較して、江南・病院線で0.04人/便の増、江南団地A線で0.14人/便の減、江南団地D線で0.23人/便の増、江南団地E線で0.09人/便の増となった。



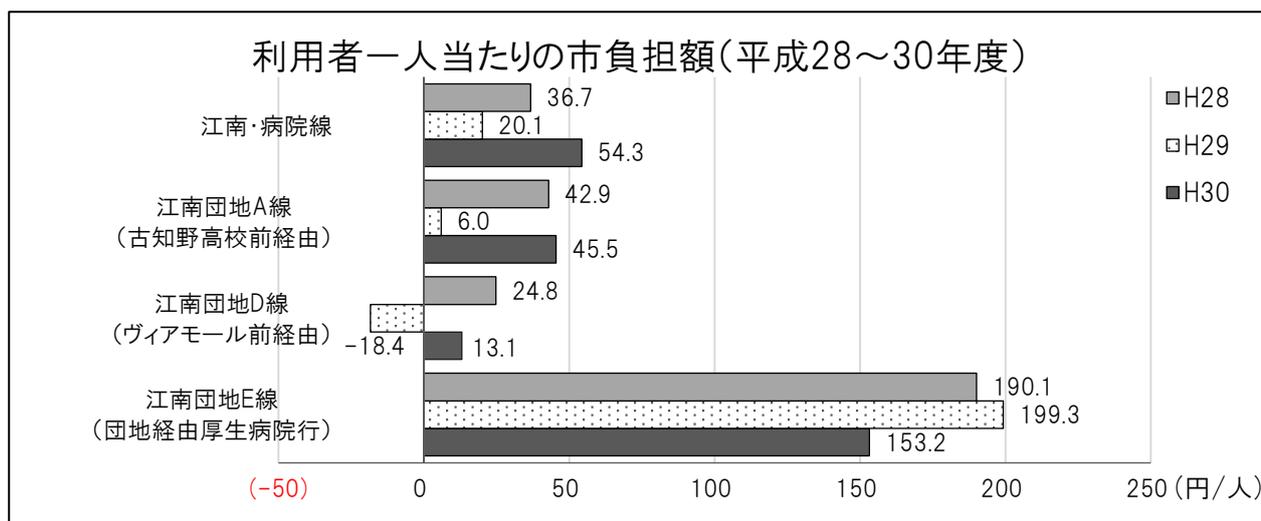
利用者数・利用状況(路線・年度別 4月-3月)

区分	H28			H29			H30		
	利用者 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	利用者 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	利用者 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)
江南・病院線	175,655	19,448	9.03	174,819	19,448	8.99	175,376	19,418	9.03
江南団地A線(古知野高校前経由)	164,611	23,586	6.98	161,734	22,860	7.07	158,227	22,827	6.93
江南団地D線(ヴィアモール前経由)	158,248	16,651	9.50	161,820	17,377	9.31	165,423	17,345	9.54
江南団地E線(団地経由厚生病院行)	24,999	3,650	6.85	30,545	3,650	8.37	30,839	3,647	8.46
計	523,513	63,335	8.27	528,918	63,335	8.35	529,865	63,237	8.38

3)利用者一人当たりの市負担額(路線別補助額)

平成30年度は、江南・病院線で54.3円、江南団地A線で45.5円、江南団地D線で13.1円、江南団地E線で153.2円の補助となっている。

平成29年度は、補助金算定上の特殊要因<sup>※3</sup>により補助金が大幅に減少していたが、平成30年度は平年並みとなっている。平成28年度と比較して、利用者数が増加傾向にある江南団地D線及び江南団地E線は利用者一人当たりの補助額が減少しており、江南・病院線及び江南団地A線は増加している。



※3 OD調査(起終点調査)実施日の天候不良に伴う利用者増

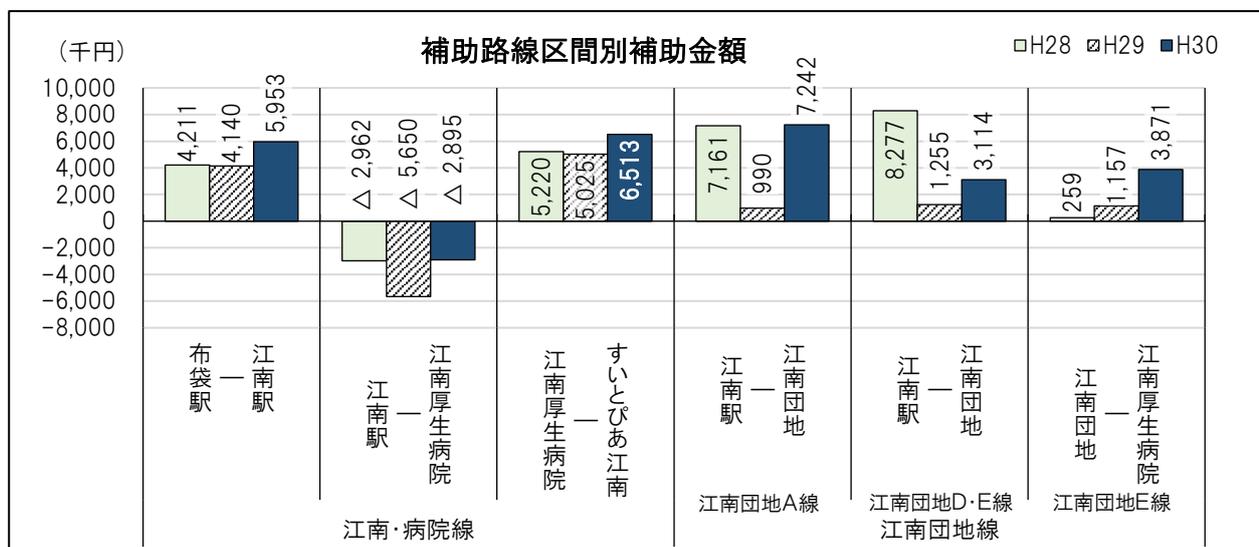
利用者一人当たりの市負担額(補助年度別補助額 補助期間:10月-9月)

区分	H28			H29			H30		
	利用者数 (人)	補助額 (円)	一人当りの補助額 (人/円)	利用者数 (人)	補助額 (円)	一人当りの補助額 (人/円)	利用者数 (人)	補助額 (円)	一人当りの補助額 (人/円)
江南・病院線	176,574	6,472,000	36.7	174,598	3,515,000	20.1	176,327	9,571,000	54.3
江南団地A線(古知野高校前経由)	166,780	7,160,000	42.9	163,943	990,000	6.0	159,209	7,242,000	45.5
江南団地D線(ヴィアモール前経由)	154,591	3,828,000	24.8	162,684	△2,998,000	△18.4	162,234	2,119,000	13.1
江南団地E線(団地経由厚生病院行)	24,758	4,706,000	190.1	27,150	5,410,000	199.3	31,764	4,866,000	153.2
計	522,703	22,166,000	42.4	528,375	6,917,000	13.1	529,534	23,798,000	44.9

#### 4)補助路線区間別補助金額(推計)

平成30年度は、江南・病院線の江南駅－江南団地の間が7,242千円と最も多く、次いで江南厚生病院－すいとぴあ江南の間が6,513千円となっている。

平成29年度は、特殊要因※4により補助金額が減少したが、30年度は元の傾向になっている。



※4 OD調査(起終点調査)実施日の天候不良に伴う利用者増

#### 補助路線区間別補助金額

(単位:千円)

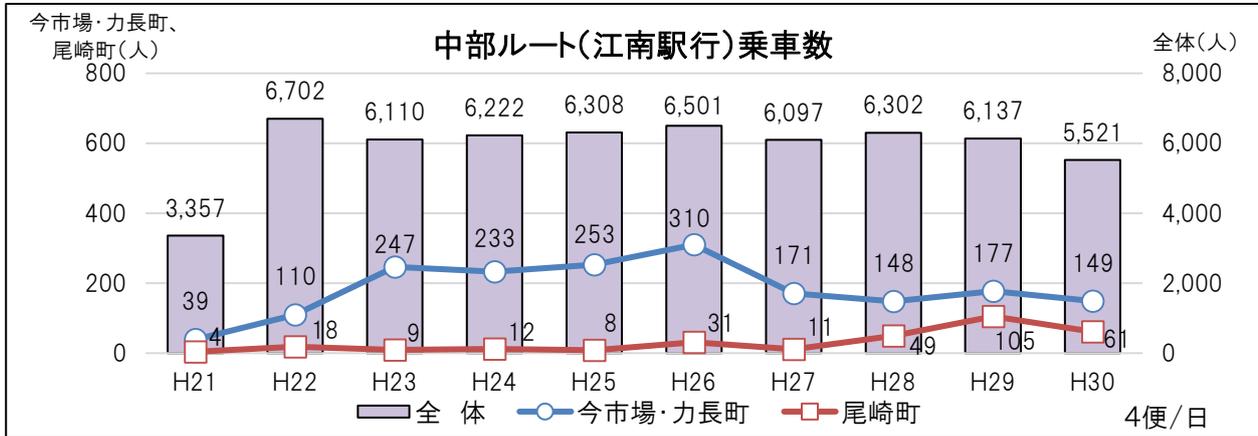
路線	区間	H28	H29	H30
江南・病院線	江南駅－布袋駅	4,211	4,140	5,953
	江南駅－江南厚生病院	△2,962	△5,650	△2,895
	江南厚生病院－すいとぴあ江南	5,220	5,025	6,513
江南団地線	江南駅－江南団地(江南団地A線)	7,161	990	7,242
	江南駅－江南団地(江南団地D・E線)	8,277	1,255	3,114
	江南団地－江南厚生病院(江南団地E線)	259	1,157	3,871

## 4. 大口町コミュニティバス（毎日運行便）利用状況

### 1) 中部ルート(江南駅行)

平成30年度は、市内停留所の乗降者数が3,357人で、前年と比較し、319人の減となった。

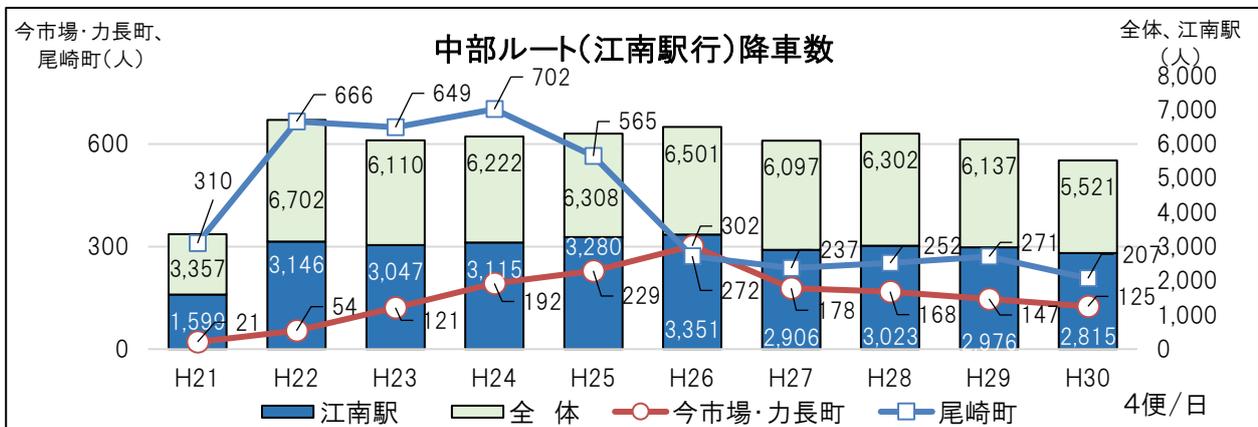
今市場・力長町及び尾崎町の乗降者が減少しているが、江南駅の降車数が161人減少していることが主な要因となっている。



中部ルート 江南駅行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
今市場・力長町	39	110	247	233	253	310	171	148	177	149
尾崎町	4	18	9	12	8	31	11	49	105	61
江南駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097	6,302	6,137	5,521



中部ルート 江南駅行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
今市場・力長町	21	54	121	192	229	302	178	168	147	125
尾崎町	310	666	649	702	565	272	237	252	271	207
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906	3,023	2,976	2,815
全体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097	6,302	6,137	5,521

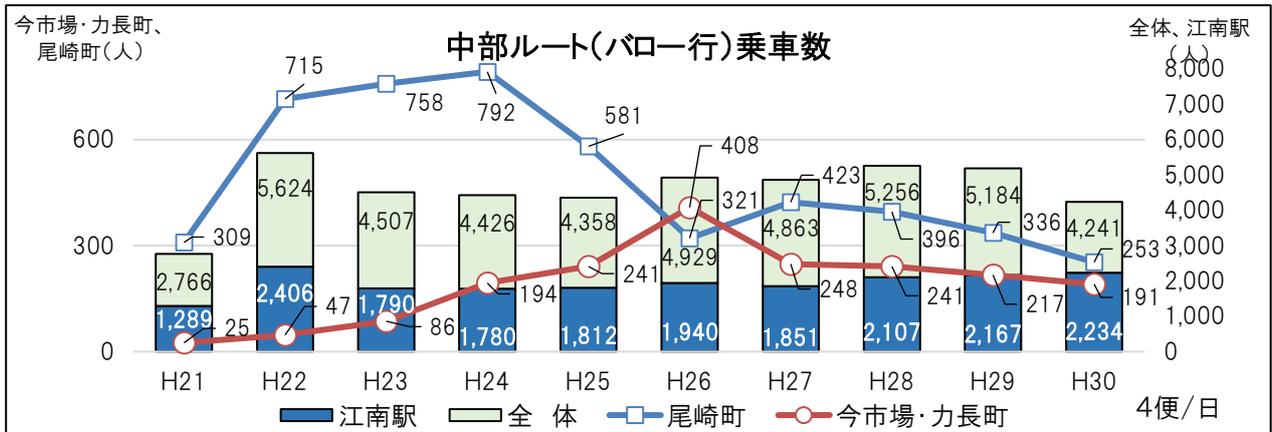
乗降者数合計 中部ルート(江南駅行)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
今市場・力長町	60	164	368	425	482	612	349	316	324	274
尾崎町	314	684	658	714	573	303	248	301	376	268
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906	3,023	2,976	2,815
全体	1,973	3,994	4,073	4,254	4,335	4,266	3,503	3,640	3,676	3,357

## 2) 中部ルート(パロー行)

平成30年度は、市内停留所の乗降者数が2,811人で、前年と比較し、63人の減となった。  
 江南駅の乗車数が67人増加しているが、尾崎町は乗車数・降車数ともに減少している。



中部ルート パロー行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851	2,107	2,167	2,234
尾崎町	309	715	758	792	581	321	423	396	336	253
今市場・力長町	25	47	86	194	241	408	248	241	217	191
全体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863	5,256	5,184	4,241



中部ルート パロー行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
江南駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
尾崎町	1	4	1	0	0	20	18	32	33	14
今市場・力長町	26	46	89	206	183	161	147	111	121	119
全体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863	5,256	5,184	4,241

乗降者数合計 中部ルート(パロー行)

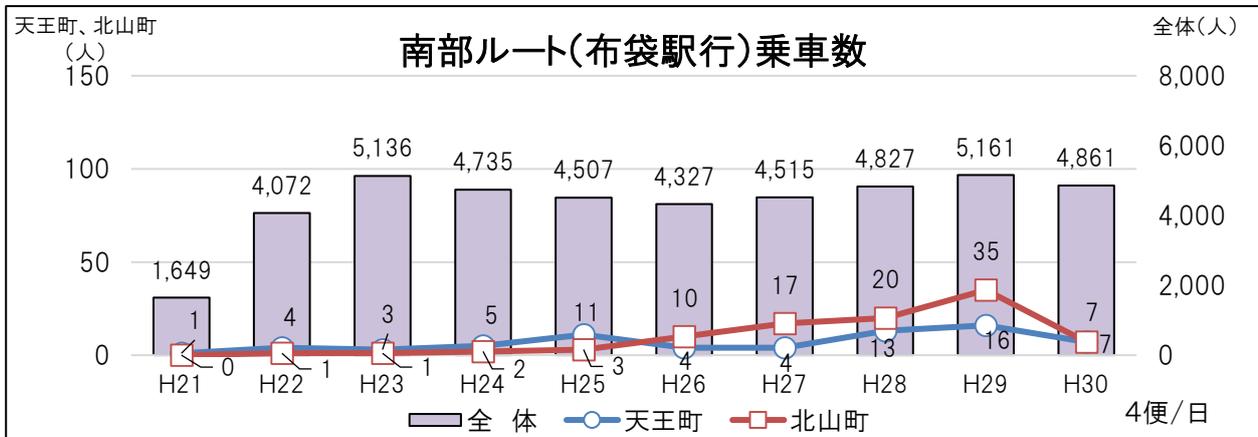
(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851	2,107	2,167	2,234
尾崎町	310	719	759	792	581	341	441	428	369	267
今市場・力長町	51	93	175	400	424	569	395	352	338	310
計	1,650	3,218	2,724	2,972	2,817	2,850	2,687	2,887	2,874	2,811

### 3)南部ルート(布袋駅行)

平成30年度は、市内停留所の乗降者数が3,545人で、前年と比較し、277人の減となった。

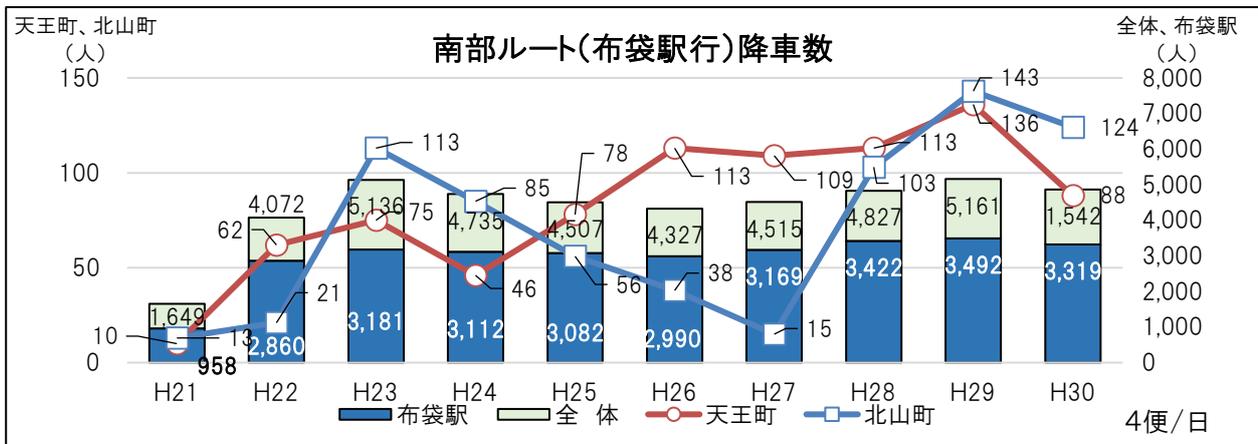
天王町及び北山町の乗降者も減少しているが、布袋駅の降車数が173人減少していることが主な要因となっている。



南部ルート 布袋駅行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
天王町	1	4	3	5	11	4	4	13	16	7
北山町	0	1	1	2	3	10	17	20	35	7
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515	4,827	5,161	4,861



南部ルート 布袋駅行(降車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
天王町	10	62	75	46	78	113	109	113	136	88
北山町	13	21	113	85	56	38	15	103	143	124
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169	3,422	3,492	3,319
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515	4,827	5,161	4,861

乗降者数合計 南部ルート(布袋駅行)

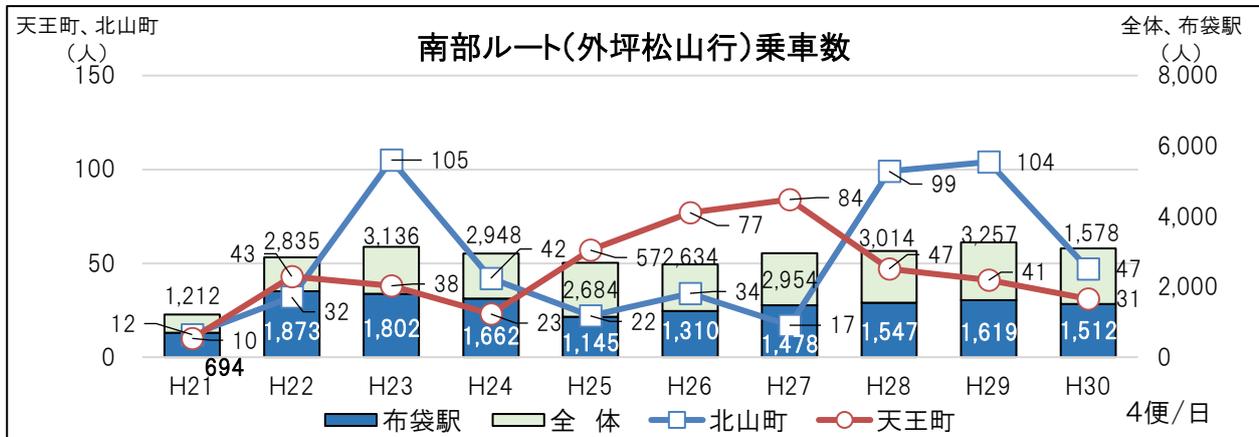
(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
天王町	11	66	78	51	89	117	113	126	152	95
北山町	13	22	114	87	59	48	32	123	178	131
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169	3,422	3,492	3,319
計	982	2,948	3,373	3,250	3,230	3,155	3,314	3,671	3,822	3,545

#### 4)南部ルート(外坪松山行)

平成30年度は、市内停留所の乗降者数が1,596人で、前年と比較し、203人の減となった。

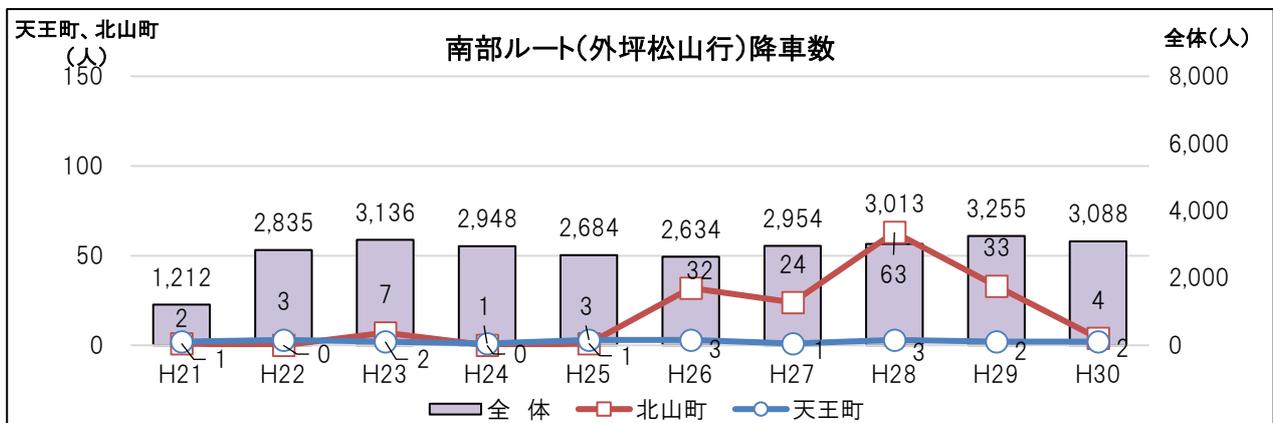
北山町の乗降者が減少しているが、布袋駅の降車数が107人減少していることが主な要因となっている。



南部ルート 外坪松山行(乗車数)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478	1,547	1,619	1,512
北山町	12	32	105	42	22	34	17	99	104	47
天王町	10	43	38	23	57	77	84	47	41	31
全体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954	3,014	3,257	3,090



南部ルート 外坪松山行(降車数)

(単位:人)

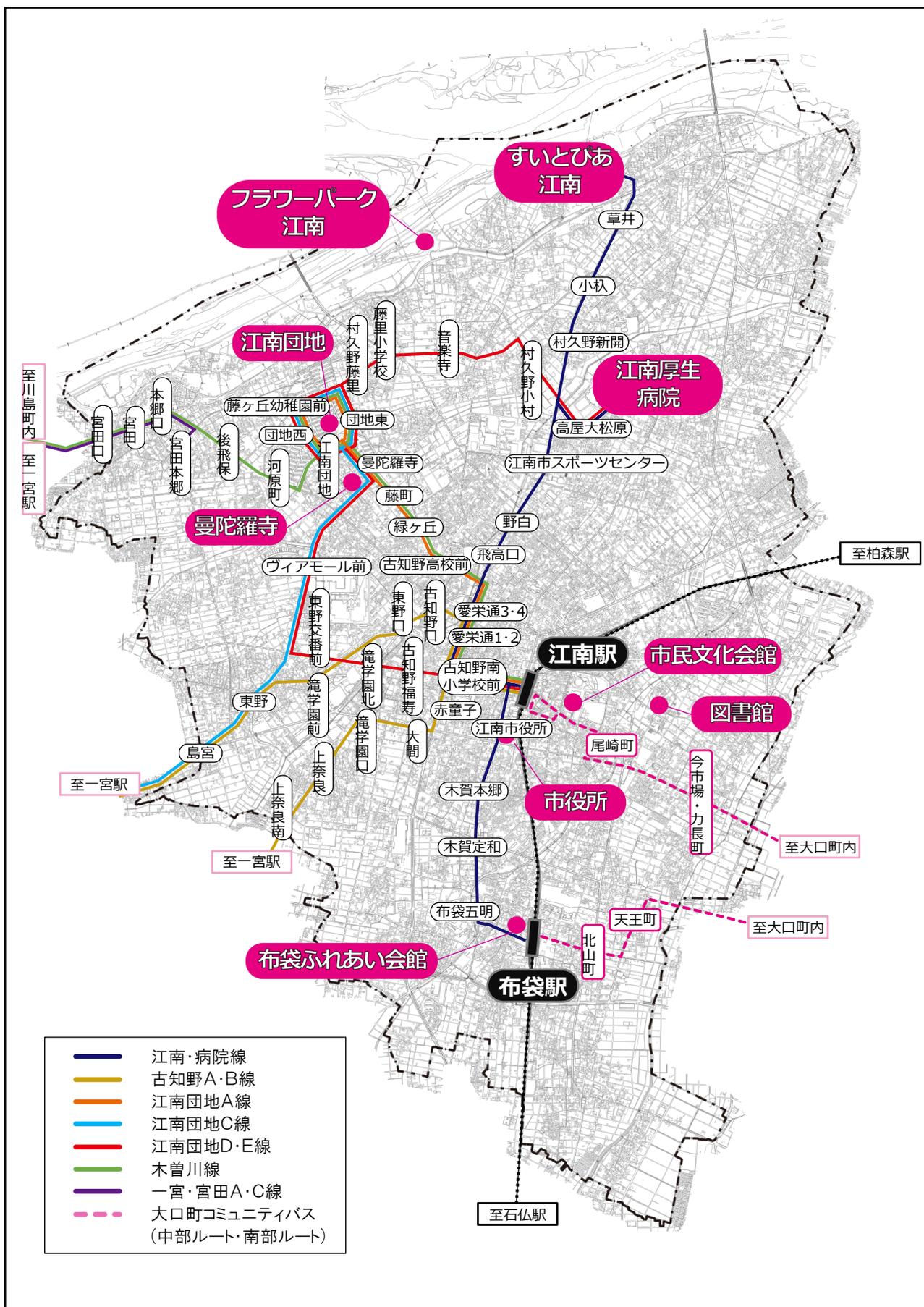
停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北山町	1	0	7	0	1	32	24	63	33	4
天王町	2	3	2	1	3	3	1	3	2	2
全体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954	3,013	3,255	3,088

乗降者数合計 南部ルート(外坪松山行)

(単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478	1,547	1,619	1,512
北山町	13	32	112	42	23	66	41	162	137	51
天王町	12	46	40	24	60	80	85	50	43	33
計	719	1,951	1,954	1,728	1,228	1,456	1,604	1,759	1,799	1,596

## 5. 江南市内のバス路線・停留所





平成30年度  
江南市地域公共交通  
(いこまいCAR・バス)  
の利用状況

令和元年7月

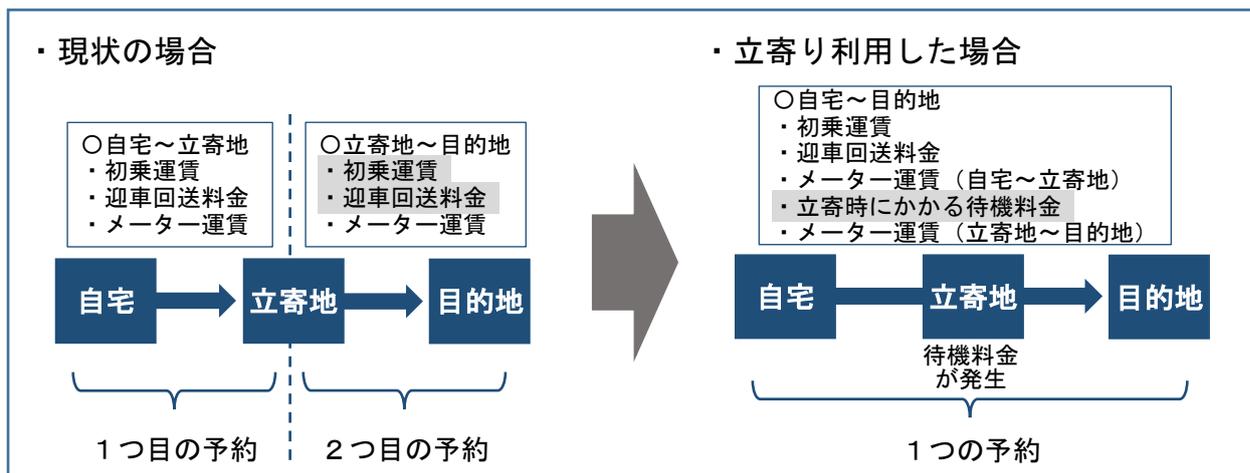
愛知県江南市  
都市整備部都市計画課

## いこまいCAR（予約便）の立寄り利用について

### 1. 内容

現在、いこまいCARで、目的地の前に立寄地がある場合は、1か所ごとに予約を取って利用することとなっており、料金の支払いを予約ごとに行うため、立寄地から目的地に行く際は再度、迎車回送料金と初乗運賃がかかる仕組みとなっている。

立寄地での用事が短時間で終わる場合、タクシー車両を待機させることができないかとの要望があったため、対応を検討する。



### 2. 想定される立寄りのケース

いこまいCARであるため、立寄りについても予約時に申し出ることとする。そのうえで、以下のケースを想定する。

- ・ コンビニエンスストア等で軽微な買い物をしてから目的地に向かう
- ・ 知人宅まで迎えに行き目的地まで相乗りをする

### 3. 立寄り上限時間

10分を目安とする。

※目安であり、これを若干超過した場合も可とする。ただし、長時間超過するような場合は市から利用者に注意するなど、個別に対応する。

### 4. 適用開始日

令和元年10月1日

### 5. 周知方法

広報こうなん（令和元年10月号）、市ホームページ

※各タクシー事業者が予約を受け付ける際に案内する。

### 6. その他

運転日報において備考欄に「立寄り」を記載し、利用状況を把握する。

## 大口町コミュニティバスのバス停新設について

### 1. 内容

大口町コミュニティバスは大口町が主体となって運行しており、大口町や江南市の各所を停留し、江南駅・布袋駅・柏森駅に接続している。

このたび、地元区から要望があり「中部ルート 平日 朝・夕運行便」において、「(仮称) 若宮八幡宮前停留所」を新設する。

### 2. 運行時間

平日朝：午前6時45分頃の1本 ※新停留所→江南駅ルートのみ

平日夕：午後6時頃の1本 ※江南駅→新停留所→柏森駅ルートのみ

### 3. 停留場所

別紙資料のとおり

### 4. 運行開始日

令和2年4月1日より

### 5. 今後のスケジュールについて

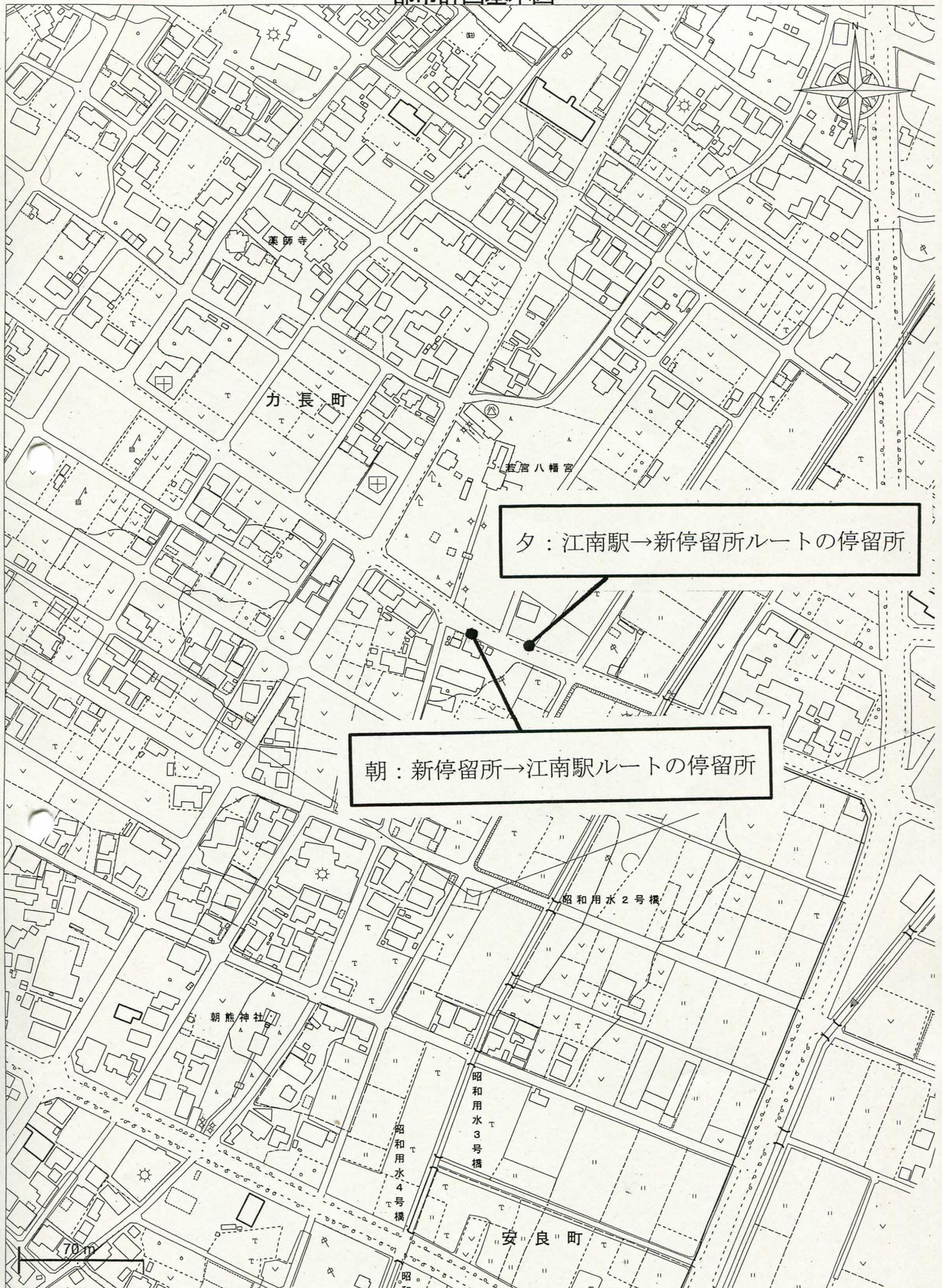
令和元年7月30日 江南市地域公共交通会議

令和2年1月ごろ 大口町地域公共交通会議

(以後) 大口町による中部運輸局愛知運輸支局への手続き

令和2年4月1日 運行開始

# 都市計画基本図



夕：江南駅→新停留所ルート of 停留所

朝：新停留所→江南駅ルート of 停留所